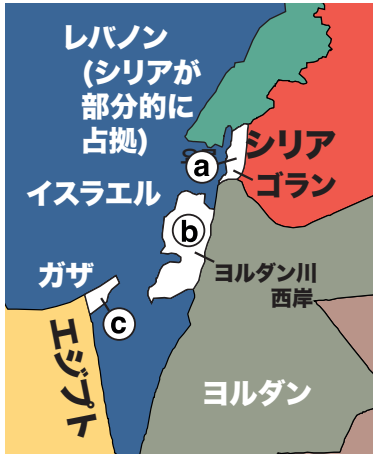


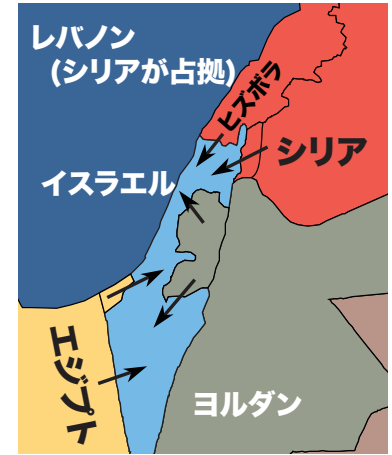
イスラエルの戦略的価値

9・11事件後のテロ戦争のシナリオ



1 事件前

ヨルダン川西岸やガザ州が非武装化されると、米国の戦略的資産と中東テロに対する防壁となっている自衛可能なイスラエルを、自衛どころか米国の武力を見込むことすらできない無防備な、米国にとって不利益な国に化し、攻撃を招くことになる。



2 事件後

1. 米国にとって戦略的な自衛可能な資産としてのイスラエル：イスラエル軍支配下にあるゴラン高原 (a)、ヨルダン川西岸の山岳地域 (b)、ガザ地区 (c) によって、イスラエルは短期から中期において実存する脅威の心配がない。

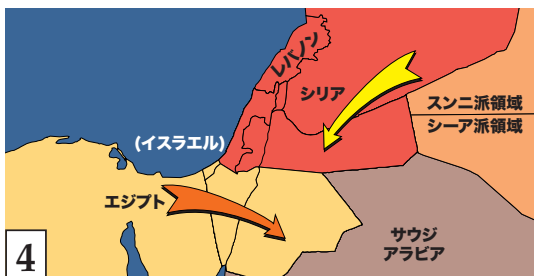
2. 攻撃を招くことになる無防備な、米国にとって不利益な国としてのイスラエル：イスラエルがゴラン高原、ヨルダン川西岸の山岳地帯、ガザ地区がイスラエルの支配下ではなく、アラブの敵国の支配下にあった場合、イスラエルは戦略的に脆弱であり、短期的な実存する脅威にさらされる。そのような紛争はイスラエルに対するアラブによる継続的なテロによって煽られる。



3

3. イスラエル：一次連鎖

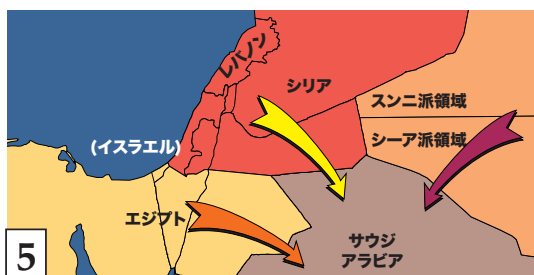
ゴラン高原やヨルダン川西岸の山岳地帯による自然の防壁を失い、イスラエルの軍隊動員能力が弱体化した状態になった場合、イスラエルは簡単にシリアとエジプトに破壊され占拠されるであろう。高度に軍国化されたパレスチナ国家でさえも、シリアかエジプトのいずれか一方を軍事的に封じ込められない。ヒズボラ、シリア、エジプトはいずれも待望のエルサレム占拠のために競い合うことになる。



4

4. ヨルダン：二次連鎖

イスラエルが戦略的防衛国でなくなると、ヨルダンは強力な軍隊を有するヒズボラ、シリア、エジプト、イランシーア派勢力によって簡単に侵害されるであろう。シリアは現在ヨルダンにシリア南部と見なしており、「自明の運命」という自ら構想を実現する。



5

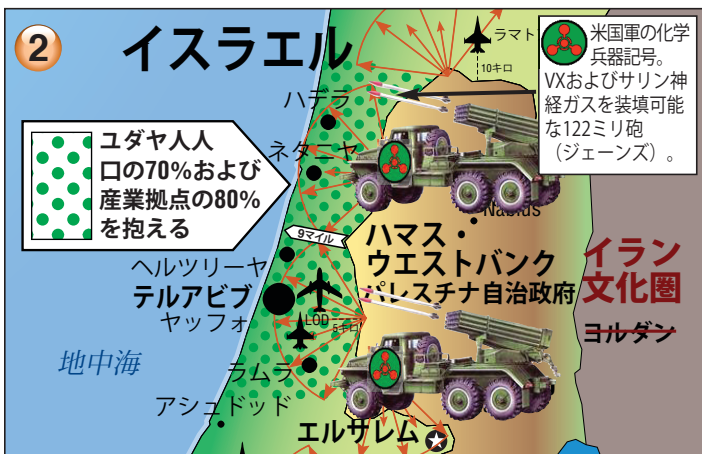
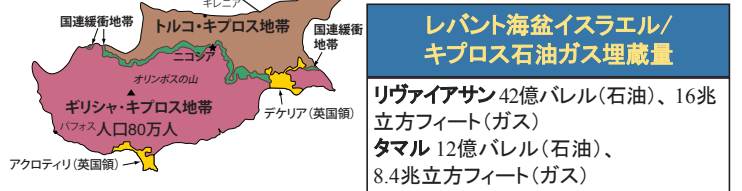
5. サウジアラビア：三次連鎖

強力な軍隊はあるが石油資源に乏しいエジプト、シリア、サウジアラビア北部国境のイランシーア派勢力に囲まれたサウジアラビアは、消滅することになるであろう。スエズ運河が味方国の占領管理下でない場合、西側主要諸国はサウジアラビアに武器を再補給したり守ることはできない。

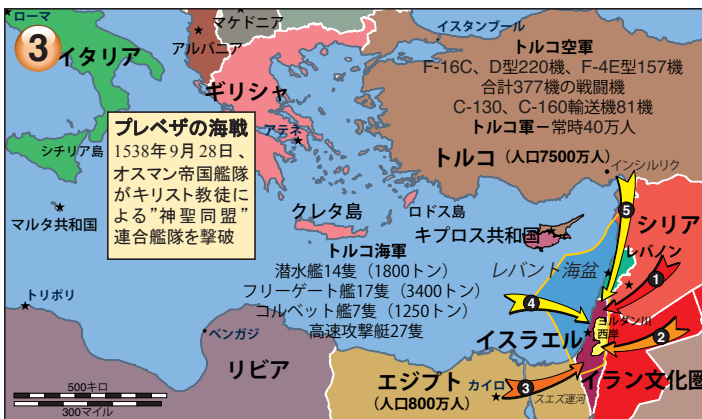
イスラエルは、トルコおよびイラン占領下のイスラエルからキプロス、ロドス島、さらにギリシャまで防衛するNATOの南東要塞です。



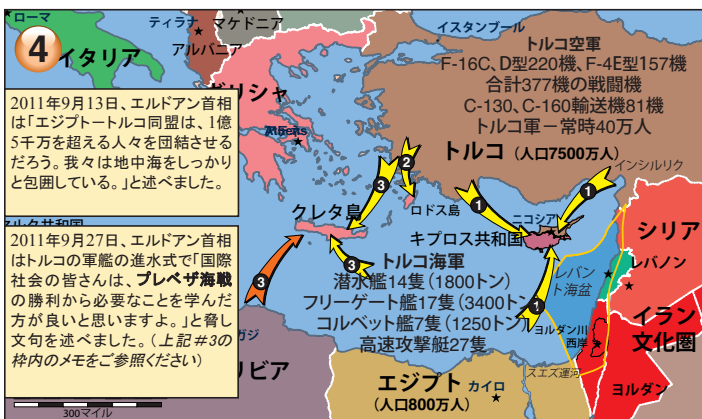
1. 戦闘準備の整ったイスラエルの戦力組成は、トルコ/イスラム軍による攻撃や1974年のトルコによる侵略に端を発する破壊活動からギリシャ系の南キプロスを守るため、NATOに、信頼でき、コスト効率が良い、NATOにとって利用しやすい戦闘地域を提供しています。



2. イランは、ヨルダン川西岸にウエストバンク州を築いた後すぐに、まずヨルダンを制圧するでしょう。ハマスは、既にガザでもファタ派を倒していることから、ウエストバンクでも同派を打倒すると予想されます。ウエストバンク・ハマスパレスチナ州は、何万ものカチューシャロケット(VX(持続性)やGB(サリン)神経ガスを含む(ジェーンズ))を密輸し、テルアビブおよびイスラエルにいるユダヤ人の70%以上を射程範囲に捕らえることになるでしょう。イランの指示により、アラブ、イラン間で大量の長距離ミサイルが行き交う大戦争の引き金となるイスラエル軍のウエストバンク再侵略を阻止するため、ハマスはロケットでテルアビブとエルサレムを集中砲火すると予想されます。



3. イスラム軍のスカッド/カチューシャロケットの同時攻撃が5方面から行われた場合、イスラエルは壊滅状態になります。イスラエルはNATO側であり、イランのカリフ制やオスマン帝国の復活を望むトルコ人の西部進行を阻止するための、西側諸国初かつ唯一の防衛線です。トルコはギリシャ系キプロス人およびイスラエル人の東地中海ガス資源から何十億ドルを掠め取り、イスラム地中海軍の補強に充てようとしています。



4. キプロスの南東要塞および戦闘地域を守るイスラエルの戦力組成がなければ、トルコのフリーゲート艦と潜水艦がキプロスの南海域に出没し、あらゆる援軍が絶たれ、ハイファは東地中海におけるイランの新たな海軍基地となり、キプロス、クレタ島、ロドス島、さらにはギリシャまでもがトルコとイランのシーア派カリフの手に渡ることになるでしょう。イランは、イラン文化圏のヤッフオに新設した基地から、現存するシャヒブ中距離ミサイル(1000マイル)でヨーロッパ南部を射程範囲に捕らえるでしょう。ギリシャの防衛力はなくなります。イランやトルコがヨーロッパのすぐ近くまで迫ってくるでしょう。